

「江戸川区食品ロス削減推進計画（案）」の意見募集結果について

「江戸川区食品ロス削減推進計画（案）」に関する意見募集手続きは、令和3年5月1日から5月14日までの期間で行いました。その際、7名より計21件のご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見及び区の考え方は、以下の通りです。

1 意見募集手続きの概要

（1）意見募集期間

令和3年5月1日から5月14日までの間

（2）周知方法

ア 区公式ホームページに掲載

イ 令和3年5月1日号の「広報えどがわ」に掲載
環境部清掃課窓口に関連用の印刷物を設置

（3）意見の提出方法

ア 区公式ホームページ

イ 持込み又は郵送

（4）提出先

環境部清掃課ごみ減量係

2 意見募集の結果

| | 頂いたご意見 | 区の考え方 |
|---|--|--|
| 1 | 素晴らしいと思う。 | ご意見ありがとうございました。 |
| 2 | 区内食品ロス量を毎年検証して中間報告をしてほしい。 | 区内食品ロス量については毎年検証していきたいと考えています。 |
| 3 | 食品ロス量の目標値について、家庭系と事業系で合算した目標にしているのはなぜか。 | 一般家庭と、飲食店・小売店等が共に力を合わせて目標達成を目指す狙いがあり、合算した目標を設定しています。 |
| 4 | 食品ロスの削減に取り組んでいる区民の割合を100%とあるが、現在は何%くらいの区民が取り組んでいるのかわからないため、目標の難易度（達成見込み）がわ | 令和2年度（第33回）区民世論調査によると、「食品ロスという言葉もしくは取り組みを知っている」割合が87.9%、「食品を無駄にしないための何らかの取り組 |

| | | |
|----|---|--|
| | からなかった。 | みをしている」割合が72.0%です。 その旨計画に追記しました。 |
| 5 | SDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」の内容を計画に記述すると区民にはわかりやすい。 | SDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」の内容にも触れながら、計画を策定しています。 |
| 6 | 区役所の各部ごとの実績値をホームページで紹介する。 | 食品ロスに関する情報発信につきましては、今後とも各部と連携しながら研究を重ねていきます。 |
| 7 | 「フードバンク」や「エコセンター」をはじめとする団体等と連携しながら、食品ロス削減の取組を「難民救済」まで繋げられればよい。 | 区はさまざまな取組や連携を通じて、ごみ減量を念頭に置きながら、現状としては、本来食べられるにもかかわらず捨てられる食品を、まずは区内において必要とする方々へ提供できるよう努めています。 |
| 8 | ある小売店に対して、賞味期限や商習慣についてヒアリングを行った。知識・意識が非常に高く、今後に期待が持てる。 | 区は引き続き区内小売店や飲食店と連携しながら、食品ロスの削減を推進していきます。 |
| 9 | 商店街、小売店、飲食店に対して区が強力な指導をしてほしい。また、優秀店にポイント等を付与してほしい。 | 今後も区は区内の商店街、小売店や飲食店と緊密に連携しながら食品ロス削減に取り組みます。また、優秀店への対応については今後とも研究を重ねていきます。 |
| 10 | 食品ロス削減に取り組む店舗を表彰する制度をつくってほしい。 | 実施に向けて検討してまいります。 |
| 11 | 食べきり推進店について、取組例はどれも非常に良いと思う。手軽にできるアクションでお店にとっても消費者にとっても良いことだ。 今は衛生的になかなか難しいのかもしれないが、食べ残しは持ち帰りを当たり前にする、また、持ち帰り容器の持参で次回来店時の割引クーポン配布など、様々なアイデアがあると思う。 目標が区内全店とあるが、そもそも区内に飲食店が何軒あるのか、記載があったらよりわかりやすい。 | 食べきり推進店については、今後もさまざまなアイデアを取り入れながら積極的に推進していきます。 区内全店舗数の推計を計画本文に追記しました。 |

| | | |
|----|---|--|
| 12 | 30・10運動について、緊急事態宣言発出中の意見募集にも関わらず、宴会の説明等に注釈がないことに違和感を感じた。 | 計画本文に注釈を追加しました。 |
| 13 | フードドライブについて、意識の高い区民であれば、手間をかけて指定場所まで持ち込むことも考えるだろうが、もったいないと思いつつも多くの「普通の区民」にとって、捨てる以上に簡単な方法はないため、自己犠牲(時間や労力)を払ってまで持ち寄る人が増えることは期待できないと考える。例えば、フードドライブ収集車が区内を循環訪問する、または主要な駅にフードポストを設けるなど、区民がもっと負担なく協力できる仕組みやアイデアが更に必要だと感じる。 | フードドライブの実施にあたっては、今後も工夫に努めてまいります。 |
| 14 | フードドライブを、食品製造業、卸売業やスーパーマーケット等にまで拡大し、困窮家庭に届けるしくみ作りを実現してほしい。 | 区はさまざまな取組や連携を通じて、ごみ減量を念頭に置きながら、本来食べられるにもかかわらず捨てられる食品を、さまざまな働きかけを行いながら、必要とする方々へ提供できるよう努めます。 |
| 15 | 区内店舗から出る食品ロスを、母子家庭や子ども食堂に配ってほしい。また、区役所や店舗の前で配布してほしい。配布を実施した店舗には、区が補助チケットを出してほしい。 | |
| 16 | 計画内で総合スーパーは取り上げられているが、コンビニの弁当類に関する取組などはどうなっているのか言及がない。 | コンビニの弁当類に関しては、企業からのヒアリング等を通じて研究を重ねてまいります。 |

| | | |
|----|---|---|
| 17 | <p>食べきりレシピについて、レシピの数を500にすることがゴールに見えてしまうと、本質ではないと思うので、考案数も大切だが、より重要なことはレシピを知ってもらい、調理時に活用してもらうことだと思う。区内飲食店での配布もいいが、家庭内でメニューを考えるタイミングにレシピの存在を挟み込まないと効果は高まらないと思われるので、クックパッドなど利用者層が多い企業サービスと提携することや、スーパーの食品売場に置いてもらうなどの工夫があってもいい。</p> | <p>食べきりレシピについては、現在、クックパッドと連携しながら普及啓発に努めています。また、スーパーにおける配布も実施していますが、地球温暖化を防ぐ観点から、今後はホームページでの閲覧を奨励していきます。</p> <p>今後も様々な工夫をこらし、レシピ数を増やすことだけでなく、家庭内への効果的な浸透も視野に入れながら事業を展開します。</p> |
| 18 | <p>(仮称)食品ロス削減推進会議を実効性のあるものとし、区民が楽しく参加できるようにしてほしい。</p> | <p>実施方法等については現在研究中ですが、参加する方々が忌憚なく意見を表明できる会議を目指します。</p> |
| 19 | <p>食品ロスの削減を推進するためにモニター調査を実施する。</p> | <p>区は「家庭ごみ組成分析調査」を実施しており、その分析結果を、食品ロス削減の推進に生かしています。</p> |
| 20 | <p>食品業界のルールの見直しをしてほしい。</p> | <p>食品業界の商慣習の見直しについて、区は研究を重ねながら、必要があれば業界に働きかけ、業界と連携しながら引き続き食品ロス削減に努めていきます。</p> |
| 21 | <p>消費期限と賞味期限の違いを周知してほしい。</p> | <p>引き続き普及啓発に努めます。</p> |